

工程表全体の変更点: 工程を細分化し、新たに線表を追加

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		4月				5月				6月				7月		8月		備考
			31	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	前	後					
建屋内除染	共通	(実績) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発(継続) (予定) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発 高所除染装置の開発 上部階除染装置の開発 地下階除染概念検討																完了時期 ・高所除染装置: 2015年12月 ・上部階除染装置: 2015年3月 ・地下階除染概念検討: 2015年12月	
		(実績) ○【検討】R/B1階南側高線量機器対策検討(継続) (予定) ○【検討】R/B1階南側高線量機器対策検討(継続)	検討・設計	【検討】R/B1階南側高線量機器対策検討 線量低減全体シナリオ策定 【検討】R/B1階小部屋(SHC室、主蒸気室、TIP室)調査検討 DHC配管・AC配管線量低減検討																完了時期 ・南側高線量機器対策 DHC配管・AC配管線量低減: 2015年3月 ・小部屋調査: 2015年12月	
		(実績) ○【検討】R/B1階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討(継続) ○R/B1階ダクト線量低減(新規) (予定) ○【検討】R/B1階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討(継続) ○R/B1階ダクト線量低減(新規)	検討・設計	【検討】R/B1階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討 R/B1階ダクト線量低減準備作業 西側通路 北西エリア 北側通路 北東エリア 南側通路 南西																(低所除染まで(現状)で作業可能) ①PCV内部調査【北西】: 2015年8月 変更 完了目標時期を追記	
		(実績) ○R/B1階除染作業(継続) ○R/B1階作業エリア遮へい設計・検討(継続) (予定) ○R/B1階除染作業(継続) ○R/B1階作業エリア遮へい設計・検討(継続)	検討・設計 現場作業	【検討】R/B1階 作業エリア遮へい設計・検討 中～低所除染、床面再除染、局所遮へい設置 鉄板撤去(南西) 小瓦棟撤去(南西) 高所線源調査 中・低所除染(北西・西側通路) 局所遮へい設置(北東機器ハッチレール) 中・低所除染(北東)																(中～低所以下の除染・撤去・遮へいを実施) ①PCV1stエントリ(X-53【北西】: 2015年7年度準備作業開始 2015年度下半期(工事) ②PCV下部調査 ベント管高切調査: 2015年8年度準備作業開始	
格納容器調査・補修	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続)	検討・設計	【PCV下部止水技術の開発(S/C脚部補強、ベント管止水、S/C内充填(ダウンカム)止水、ガイドパイプ設置、1号機真空破壊ライン止水)】試験計画策定等 【S/C内充填(ダウンカム)止水技術開発】止水要素試験(クエンチャ、ストレーナ、ダウン 【S/C脚部の補強技術開発】トラス室底部への補強材充填工事 【機器ハッチ止水技術の開発】溶接による止水技術概念検討 装置設計に必要な条件の整理 【PCV貫通部止水技術の開発】遠隔操作による止水時の止水材の調査と絞り込み試験 止水試験計画策定 【PCV接続配管のバウンダリ構築技術開発】止水・閉止要素(止水材、配管内面移動治具、遠隔挿入治具等)検討 止水試験計画策定 【トラス室壁面貫通部の止水技術開発】止水材の調査と絞り込み試験 止水試験計画策定 【D/Wシールの補修技術開発】PCV内へのアクセスルート検討 補修装置の概念検討 【循環冷却システム開発】PCV冠水システム概念図案作成、【格納容器水張りまでの計画の策定】PCV止水手順案作成 PCV冠水後の異常時のバウンダリを考慮したPCV冠水システム概念図、PCV止水手順の検討																	
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
燃料デブリ取り出し準備	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】PCV内部調査技術の開発 PCVベデスタル内側プラットフォーム上調査装置の開発 調査装置の操作性検証・トレーニング X-6ベネ用遮へいブロック撤去装置の操作性検証・トレーニング PCVベデスタル内(CRD下部、プラットフォーム上、ベデスタル地下階)調査技術の開発 PCVベデスタル外(ベデスタル地下階、作業員アクセス口)調査技術の開発 【研究開発】RPV内部調査技術の開発 公衆前準備作業 穴あけ技術・調査技術の設計 サンプリング技術の概念検討																	
		(実績)なし (予定)なし	現場作業	【研究開発】2号機PCV内部(ベデスタル内)調査 準備作業 X-6ベネ前遮へいブロックの撤去作業 X-6ベネ孔あけ準備作業 内部調査																PCV内部調査実施試験予定 2号機内部調査 2015年8月～	
		(実績)なし (予定)なし	現場作業	X-53ベネ内干渉物撤去																PCV内部調査予定 3号機内部調査 2015年10月	
		(実績)なし (予定)なし	現場作業																		

工程表全体の変更点: 工程を細分化し、新たに線表を追加

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定												備考														
			4月			5月				6月			7月			8月													
RPV/PCV健全性維持	R/V	圧力容器/格納容器の健全性維持 (実績) ○【研究開発】圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続) (予定) ○【研究開発】圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続)	検討・設計	【研究開発】PCV/RPVの耐震健全性を踏まえた冠水工法の成立性評価 機器の簡易評価 △耐震裕度の低い機器の特定 【研究開発】PCV補修や水位上昇を踏まえた機器の耐震強度の簡易評価 横取り出しを踏まえたモデルの作成(一部実電で評価を実施し国プロに情報提供) 裕度の低い機器の詳細評価 【研究開発】腐食抑制策の開発 防錆効果確認試験(Run1) 亜鉛混合リン酸塩(200倍希釈海水中)、タングステン酸塩(1000倍希釈海水中)、モリブデン酸塩(1000倍希釈海水中)等 標準ケースについての詳細評価 防錆効果確認試験(Run2) 亜鉛混合リン酸塩(1000倍、10000倍希釈海水中)、タングステン酸塩(10000倍希釈海水中)等 タングステン酸塩、亜鉛混合リン酸塩すき間内効果確認等 流水環境試験(Run2) 試験供試体分析/評価 副次影響評価試験(ホウ素+中性子吸収剤等) 腐食試験 【研究開発】長期の腐食減肉量の予測の高度化 △水質分析 供試体分析/評価 【研究開発】ペースタルの侵食影響評価 試験体養生 高温加熱 水中浸漬・大気暴露												現場作業	腐食抑制対策(窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減)												年超(10000時間の連続浸漬試験)
			検討・設計	【炉心状況把握解析】 【研究開発】事故時プラント挙動の分析(継続) ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化(継続) ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化(継続) ○【研究開発】ミュオン透過法による測定と評価の準備作業(継続) ○【現場作業】1号機ミュオン測定(継続)												現場作業	1号機ミュオン測定 ミュオン測定装置不具合対応 1号機ミュオン測定(3箇所目)												燃料デブリ取り出し準備 1号機: 2015年2月~ 2号機: 2015年度(調整中)
			現場作業	【燃料デブリ検知技術の開発】 1号機ミュオン測定結果の評価 ミュオン測定装置の小型化検討												現場作業	1号機ミュオン測定 ミュオン測定装置不具合対応 1号機ミュオン測定(3箇所目)												燃料デブリ取り出し準備 1号機: 2015年2月~ 2号機: 2015年度(調整中)
燃料デブリ取り出し準備	燃料デブリ	取出後の燃料デブリ安定保管 燃料デブリ性状把握 (実績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・金属デブリ物性評価、福島特有事象の影響評価(継続) ・TMI-2デブリ物性評価、分析手法確認(継続) ・MCCI生成物特性評価、金属セラミックス溶融体製作/物性取得(継続) ・燃料デブリ分析測定技術開発(継続) ・燃料デブリ輸送容器(B型)等検討(継続) ・収納/保管に係る基礎特性評価等(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・金属デブリ物性評価、福島特有事象の影響評価(継続) ・TMI-2デブリ物性評価、分析手法確認(継続) ・MCCI生成物特性評価、金属セラミックス溶融体製作/物性取得(継続) ・燃料デブリ分析測定技術開発(継続) ・燃料デブリ輸送容器(B型)等検討(継続) ・収納/保管に係る基礎特性評価等(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・機械物性評価(金属デブリ、福島特有事象) ・MCCI生成物特性評価、金属セラミックス溶融体製作/物性取得 試験計画の策定/試験準備 金属セラミックス溶融体製作試験 ・燃料デブリ測定/分析技術開発、輸送容器等検討 試験計画の策定/仕様検討/試験準備 材料特性評価 ・収納/保管に係る基礎特性評価等 試験計画の策定/資材調達/試験準備 輸送容器検討												現場作業	燃料デブリ測定/分析技術開発、輸送容器等検討 試験計画の策定/仕様検討/試験準備 材料特性評価 輸送容器検討												
			現場作業	【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・金属デブリ物性評価、福島特有事象の影響評価(継続) ・TMI-2デブリ物性評価、分析手法確認(継続) ・MCCI生成物特性評価、金属セラミックス溶融体製作/物性取得(継続) ・燃料デブリ分析測定技術開発(継続) ・燃料デブリ輸送容器(B型)等検討(継続) ・収納/保管に係る基礎特性評価等(継続)												現場作業	燃料デブリ測定/分析技術開発、輸送容器等検討 試験計画の策定/仕様検討/試験準備 材料特性評価 輸送容器検討												
燃料デブリ取り出し準備	燃料デブリ	燃料デブリ臨界管理技術の開発 (実績) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 臨界評価 ・臨界評価(最新知見の反映、複数工法を考慮した臨界シナリオの見直し) ・臨界時挙動評価(PCV上部水張り時に必要な機能整備、PCV水張り時挙動評価の精緻化、燃料デブリ取出し時に必要な機能検討) ・臨界管理手法の策定(臨界管理の考え方の整理、燃料デブリ取出し時臨界管理手法の策定、臨界原因事象の整理・対策検討) 炉内の再臨界検知技術の開発 ・再臨界検知システム(複数工法への適用検討、未臨界度推定アルゴリズムの実証試験方法検討) ・臨界近接検知システム(臨界近接検知手法の測定、システム仕様策定、適用性確認試験方法計画・準備、デブリ取出し作業への適用性検討) 臨界防止技術の開発 ・非溶解性中性子吸収材(候補材の耐放射線試験、核的特性確認試験準備、投入時均一性担保のための適用工法検討、必要投入量評価) ・溶解性中性子吸収材(水張り前のホウ酸水置換方法検討、ホウ酸水適用時の水質管理方法の検討)												現場作業	燃料デブリ臨界管理技術の開発 臨界評価 炉内の再臨界検知技術の開発 臨界防止技術の開発												
			現場作業	燃料デブリ臨界管理技術の開発 臨界評価 炉内の再臨界検知技術の開発 臨界防止技術の開発												現場作業	燃料デブリ臨界管理技術の開発 臨界評価 炉内の再臨界検知技術の開発 臨界防止技術の開発												
燃料デブリ取り出し準備	燃料デブリ	燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 (実績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 今年度の研究計画立案(継続) 燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し・抽出(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し・抽出(継続)	検討・設計	今年度研究計画立案 燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し												現場作業	燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し												H27年度末までに燃料デブリ収納缶の基本仕様を設定
			現場作業	燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し												現場作業	燃料デブリ収納缶の要求事項の洗い出し												H27年度末までに燃料デブリ収納缶の基本仕様を設定